

# 塩竈市議会だより

平成20年

## 6月定例会号

	ページ
● 議案審議の概要及び各常任委員長報告	2
● 議案に対する討論	3
● 市政に対する一般質問	4～7
● 請願・審議結果・人事	8

編集発行 宮城県塩竈市議会報編集委員会 tel022(364)1214 Aug.2008 (平成20年8月)  
ホームページアドレス <http://www.city.shiogama.miyagi.jp/html/about/gikai/index.html>



大阪市が所有する帆船「あこがれ」が7月18日に塩竈に寄港しました

### 定例会のあらまし

平成二十年第二回定例会は、六月九日から二十日までの十二日間の会期で開催されました。

初日の本会議では、市長より提出議案の説明を受け、総括質疑後、所管の常任委員会にそれぞれ付託されました。

各常任委員会は三日間開催され、付託された議案と、継続審査となっていた請願の審査を行いました。

本会議二日目から四日目は、九名の議員が市政に対する一般質問を行い、市当局の見解をただしました。

定例会最終日には、各常任委員長から審査結果の報告を受け、十一件を可決しました。請願については、閉会中の継続審査一件について審議し、引き続き閉会中の継続審査としました。また、農業委員会の委員の推薦について、一名を推薦することを決し、閉会しました。

### 定例会会議日程

6月9日 (本会議)	会期の決定、諸般の報告、議案説明、総括質疑、議案付託
6月11日 (委員会)	総務教育常任委員会
6月12日 (委員会)	民生常任委員会
6月13日 (委員会)	産業建設常任委員会
6月16日 (本会議)	市政に対する一般質問
6月17日 (本会議)	市政に対する一般質問
6月18日 (本会議)	市政に対する一般質問
6月20日 (本会議)	各常任委員長報告、議案審議及び採決、請願審議及び採決、農業委員会の委員の推薦採決

# 平成二十年六月定例会 一般会計補正予算ほか十一件を可決

(議案一覧表は最終ページ)



BDF導入試験事業(渡船すずかぜ)

六月定例会の一般会計補正予算は、歳入歳出において三千五百万九千円を追加して、総額を百八十億五千五百二十六万四千円にしようとするものであり、地域新エネルギービジョン推進事業におけるバイオディーゼル(BDF)燃料の船舶への導入試験事業費、自治総合センターからの交付金による、玉川中央通り町内会及び梅の宮町内会への機・いす等行事用備品整備助成金、同交付金による藤倉親交会集会所立替工事助成金、仙台・宮城デスティネーションキャンペーンの一環としての観光バス誘致事業補助金、地域ぐるみの

六月定例会の一般会計補正予算は、歳入歳出において三千五百万九千円を追加して、総額を百八十億五千五百二十六万四千円にしようとするものであり、地域新エネルギービジョン推進事業におけるバイオディーゼル(BDF)燃料の船舶への導入試験事業費、自治総合センターからの交付金による、玉川中央通り町内会及び梅の宮町内会への機・いす等行事用備品整備助成金、同交付金による藤倉親交会集会所立替工事助成金、仙台・宮城デスティネーションキャンペーンの一環としての観光バス誘致事業補助金、地域ぐるみの

## 常任 委員長 報告

六月定例会において、議案十一件が各常任委員会に付託され、継続審査の請願一件とともに慎重に審査が行われました。各委員長報告の要旨は次のとおりです。



総務教育

### 総務教育常任委員会

委員長 佐藤 英治

◎議案第52号・第56号については、可決すべきものと決しました。  
〔塩竈市一般会計補正予算に対する要望意見〕

裁判員制度については、既に国等から周知がされているところであるが、制度への理解について市民に混乱が生じることのないよう、本市としても情報を積極的に収集し、必要に応じた取り組みを検討されたい。



民生

### 民生常任委員会

委員長 浅野 敏江

◎議案第48号・第49号・第55号・第56号・第57号については、可決すべきものと決しました。  
〔塩竈市国民健康保険条例の一部を改正する条例に対する要望意見〕

国民健康保険条例の一部改正については、地方税法の改正に伴うものであるが、低所得者に対する軽減措置も含めた医療制度の、さらなる周知に万全を期されるとともに、滞納世帯の実態をより一層把握しながら、収納率の向上に努められたい。

◎請願第2号「後期高齢者が安心できる医療保険制度にするための請願」については、閉会中の継続審査とすべきものと決しました。



産業建設

### 産業建設常任委員会

委員長 香取 嗣雄

◎議案第50号・第51号・第53号・第54号・第56号・第58号については、可決すべきものと決しました。  
〔塩竈市中小企業制度融資損失補償条例に対する要望意見〕

先行き不透明な経営環境の中で、地域の中小企業をはじめ零細企業は、資金調達等環境の変化に対応し、生き残りをかけて必死に取り組んでいる。

このような中、企業の健全な経営活動をサポートしていくためには、身近な相談場所である市役所や商工会議所の果たすべき役割は、従来にも増して大きくなっており、その活性化が求められる。

今後は、関係機関と協議を行いながら、大いに活用できるシステムづくりを行うなど、これまで以上の相談体制の充実を図られたい。  
〔塩竈市一般会計補正予算に対する要望意見〕

現況の「くるくる広場」は、大型バス3台分の駐車スペースを確保しているものの、より一層の集客を図るため、さらなる拡充が求められる。

今後は観光客・商店街の要望・意見等を十分に踏まえながら、当該地が、まちのにぎわい・活性化に資するものとなるよう、環境の整備についても検討を加えられたい。

また、観光への意識向上とおもてなしを実践するため、市内関連企業を巻き込んだ地域戦略についても検討を深められ、なお一層の観光・産業振興に努められたい。

# 討 論

六月二十日の本会議において、議案第48号・第49号及び議案第57号について討論が行われ、賛成多数で委員長報告のとおり可決されました。  
なお、討論の概要は次のとおりです。

## 議案第48号 塩竈市障害児通園事業施設条例の一部を改正する条例

### 反対討論の概要

この条例改正は、障害児の通園施設であるひまわり園におい

## 議案第49号 塩竈市国民健康保険条例の一部を改正する条例

### 反対討論の概要

議案第49号では、国民健康保険の算定基準が、現行の医療分と後期高齢者支援分とに分割されたことに伴い、従来の税率と賦課限度額を二分するとともに、賦課限度額の総額を五十六

万円で、塩竈市直営から指定管理者制度を導入するために、施設条例の一部を改正するものである。平成十九年度決算時には、民間でもサービスマ提供は可能だが、公共性が高く、市が実施した方がよい事業と位置づけ、手段の妥当性・成果・効率性それぞれほぼ妥当、やや上がっていると、市はみずから評価した。本市では、発達障害を持つ児童が増えている傾向にあると言われている。早期発見と療育の手だてとして施設の果たす役割がますます求められている。指定管理者制度を導入する理由として、市は多様化する市民ニーズにこたえるためだとしているが、直営

でも十分対応可能である。また、コスト削減を理由の一つにして、民の福祉の増進を図ることにある。指定管理者の管理は期間が限定となり、そのたびに職員体制が変わり、障害者への対応が不安定になることが危惧される。本来福祉施設には安定した職員配置こそ求められる。コスト削減のみを理由に指定管理者制度に移行するということは、地方自治体本来の役割を投げ捨てるものになると言わざるを得ない。よって、議案第48号に反対する。

### 賛成討論の概要

国や地方公共団体すべてが市場化テスト、すなわち官民競争

万円から五十九万円に改正するとしている。国保加入者の限度額を引き上げ、また所得割を引き下げるとしているが、微々たる割合である。また、六十五歳から七十四歳までの年金生活者のうち、年金月一万五千円以上の人からは国保税が年金天引きとなる特別徴収を行うものとしている。一方、平成二十一年度から二十四年度までの本市国保会計の収支見通しは、年間約一億円前後の収支不足と見込んでいる。従来本市国保税額は県内でもトップクラスだったが、後

期高齢者医療制度を初めとする医療改革の影響を受け、今後収支不足がさらに危惧される。しかし、国は地方の国保会計の健全化支援に動くのではなく、特定健診受診率の低い自治体に対し交付金の削減を行う対応を示している。これらの問題は、国民皆保険制度の土台を切り崩すことにつながるものであり、本議案に反対する。

### 賛成討論の概要

議案第49号では、医療分と後期高齢者支援分の税率は従来の医療分の税率の水準を基本とし

入札制度導入の取り組みを図っているところである。この制度は、すべてを民間に管理を委任するのではなく、より少ない予算でより大きなサービスマを提供することを目的に、官と民がそれぞれの得意な部分を發揮しながら、経営という視点でも競争するという時代に入っていったが就学児童に対し児童デイサービスやショートステイ事業を提供することによって、父母及び養育支援を受ける児童が支障を来しているということはない。よって、民間が事業を担ったとしても、サービスマの低下にはなり得ない。ひまわり園が利用者に



塩竈市ひまわり園

とってよりよい施設となるよう見守り、不足部分については十分支援していくことが、養育支援を必要としている児童や父母にとって必要なことである。以上のことから、議案第48号に賛成するものである。

て提案されており、限度額の設定についても地方税法に基づき全市町村が同じ対応をとっている。なお、限度額の引き上げにより所得割が引き下げられ、負担軽減されるのは加入者の六十%の世帯である。社会保険制度は、国・都道府県・市町村が負担する公費負担と、加入者の保険料負担により、病気やけが等のリスクを相互扶助により保障するシステムである。国民健康保険は、国民皆保険を支える最後のとりでとしての役割が極めて大きく、高齢者や低所得者、

無職者も多く加入しており、保険税の軽減も公費負担により措置されている。本市では、低所得者の国保税額は他市に比較しても低く抑えられており、今回の議案ではさらに軽減される提案がされている。相互扶助の観点からも、全ての制度加入者が公平に保険税を負担し、国民健康保険制度が最大限活用され、市民の健康と命を守るため安定かつ充実した事業運営を期待し、議案第49号及び第57号に賛成するものである。

# 一般質問

本会議における各議員の一般質問の中から二つ取り上げて、その要旨を掲載しています。



公明党  
小野 幸男

## 南錦町東玉川町線の道路整備と対応は

議員 ①南錦町東玉川町線は交通量も大型車両も多く非常に通りにくい。近く大衡村への大手自動車会社の移転に伴う同路線の交通量の変化について伺いたい。②塩釜陸橋は設置されてから三十五年が経過している。近いうちにまた起きると言われている宮城県沖地震を考えると、安心安全の確保の観点から老朽化対策が喫緊の課題と考えるが市長の見解を伺いたい。

市長 ①県は大手自動車会社が、大衡村に移転することを受け、東北自動車道に大衡インターチェンジの新設を決定したほか、仙台港における車の積み出し機能の拡充を促進する予定である。輸送計画からは、高速交通体系

の利用を考えており本市への交通量増大については限定的なものになると予想している。②塗装のはげた部分とかコンクリート部の傷みが随所に見られる状況にあることから、今日まで計画的に修繕に取り組んでいる。また、安全確保のため、定期的に監視による確認を行っている。



塩釜陸橋

## 介護支援ボランティア制度は

議員 介護支援ボランティア制度は六十五歳以上の元気な高齢者が介護支援のボランティア活動をする事で、ポイントをたため、自らの介護保険料の支払いに充てる制度である。同制度の利点は、地域貢献しながら自身の介護予防につながる、実質的に介護保険料負担を軽減できる等が挙げられる。少子高齢化が進み介護を必要とする方が増える中で、同制度を活用し、高齢者が地域福祉に参加しやすい取

り組みを展開してはどうか、市長の見解を伺いたい。

市長 本市においてもこれまで、数多くの方々にボランティア活動を行っていただいている。皆様方の活動なしにはまちづくりにも大きな支障を来すような現状にあると理解している。地域貢献をされた方々の活躍が地域活動に組み込まれるようなことができるよう、あわせて自身の健康増進にもつなげていただけるようなシステムを、今後先進事例等も参考にしながら検討したい。



公明党  
嶺岸 淳一

## 自主財源の確保を

議員 本市においては厳しい財政運営が余儀なくされており、自主財源の確保が重要な懸案となっている。寄附条例は、自治体がかじり始め政策メニューを示し、全国の団体・個人が政策を選んで寄附し、自治体が基金として積み立て、目標額に達したら事業化するという取り組みである。寄附者の政策ニーズの反映、都市部住民の故郷への寄附、自主財源の拡充、自治意識の向上などが図られ、検討すべ

き価値はあると思うが市長の見解は。

市長 ふるさと納税が制度化されたことから、本市への寄附をアピールするため、去る五月にホームページで呼びかけを始めたとこりであり、早速数件の申し込みをいただいた。さらに多くの方々から応援をいただくため、具体的な政策メニューを示し、寄附される方の思いが実現できる仕組みを早期に制度化したい。既に寄附の受け皿となるミナト塩竈まちづくり基金を設置していることから、要綱による制度化を検討している。

## 事務の効率化を

議員 金融機関自動引き落としによる市民税収納の際、市では領収書を市民の自宅に郵送しているが、領収書の必要な方と不必要な方を分けることにより発行数量や郵送料を削減することができるとはでないか。また、



海辺の賑わい地区

市県民税領収書の発行頻度を減らせば職員の手間も大幅に軽減するものと思われるが、年四回から一回とした場合の経費削減効果はどのくらい見込まれるか。

市長 市県民税の振替完了や引き落とし不能の通知のため、郵送料として年間約三十万円の経費がかかっている。市民税については、引き落とし不能の通知を除き、通知書の発送を年四回から一回に変更すると、発送経費は概ね四分の一となり、約二十三万円の経費削減効果につながるものと考えられる。通知回数を見直しについては、改めて納税者の希望を確認する必要もあると思われるので、電算処理に係るプログラム変更もあわせ、必要な条件を整えながら経費削減につながる対策を検討したい。



日本共産党塩釜市議員  
中川 邦彦

## 耐震目標の早期達成を

議員 国では、耐震診断及び耐震改修の目標設定を現状の約七十五%から平成二十七年までに九十%にすることを目標としている。本市でも、平成二十七年までに耐震化率を九十%にするための必要件数はどのくらい

か。目標達成のためには対象件数の枠の拡大と予算の拡充が必要ではないか。また市内の各学校の耐震診断と耐震改修の到達率は七十一％であるが、計画年度を前倒ししてでも早急な耐震補強工事をすべきではないか。



月見ヶ丘小学校

**市長** 平成十九年度末までに延べ二百十九戸の耐震診断、三十戸の耐震改修を行ったが、平成二十九年度までに耐震化率九十％とするにはなお二百三十七戸の改修が必要となるので、助成枠の拡大を含めた対策を検討したい。また、小中学校の耐震化については、月見ヶ丘小学校と第三中学校の耐震補強工事が完成すれば耐震化率が八十一・六％となる。国庫補助率が引き上げられたので、少しでも早く百％となるよう努力したい。

**場外馬券売場設置の影響は**

**議員** 仲卸市場が場外馬券売場

を誘致運動してから十年目を迎え、仲卸市場の事業者からも「場外馬券売場については、もういいからこれからは仲卸の事を自分たちで考える時ではないか」と、いま苦慮していると聞いている。さらに交通問題・駐車場問題や幹線道路の渋滞、また北部地域の最近の交通量の増大等で住民生活に影響が出てくるのでは。場外馬券売場で、市長が掲げる日本で一番住みたいまちを目指すことになるのか。

**市長** 場外馬券売場設置については、議会に請願が提出され、計画推進の採択がなされたところであり、これを重く受け止めている。四十五号の交通渋滞対策については、県警の指導で場外馬券売場設置予定者が昨年十月に再度交通量調査を行ったと聞いているところであり、交通問題解決のため、国、県、市がそれぞれ道路管理者として三者協議会を設置し、極力市民生活に影響が出ないような取り組みについて話し合いを進める。



日本共産党塩竈市議員  
小野 絹子

**利府中インター線の整備促進は**

**議員** 利府中インター線は、流

通・交通の促進、国道四十五号の災害時の代替として残り二キロメートルの整備が急がれており、党市議団も毎年国・県に要望してきた。県は、庚塚から国道に向け一工区と二工区とに分け、一工区は平成二十一年度に着工、二工区は二十四年度以降着工の見通しを党県政対策委員長に示した。県の取り組みについて市との協議があったのか。また、一工区に接続する東塩釜吉津線の整備計画について何う。



県道利府中インター線

**市長** 県道利府中インター線の整備について、県は、供用済みの庚塚地区から東塩釜吉津線との交差点までの区間を平成二十一年度に事業着手し、残る国道四十五号までの区間を平成二十四年度から二十八年度までの間に事業化する方針を示した。県は来年度の事業着手に向け調査等を進めているとのことだが、

一層の事業促進について県に働きかけたい。また、接続する東塩釜吉津線についても、県道整備と十分調整を図りたい。

**バス空白地域への対策は**

**議員** バス空白地域への対策として北部、西部、東部地区に十人乗りの車を試行運転する市の提案は「早く走らせて欲しい」「やっと運動が実った」との喜びの声が寄せられている。党市議団は運動してきた団体や三地区の町内会や住民の皆さんと懇談し、アンケート調査を行ってきた。出された意見、要望などをまとめ「塩釜のバス交通問題を考える会」が六月三日に市長に要望書を提出した。利用する市民のニーズ把握について何う。

**市長** 現在、三つの空白地域の町内会長さんや地域住民の方々にお集まりいただき、説明会を開催しているが、いただいたご意見を参考にしながら、利便性の向上に向けた検討をなお重ねたい。また、運行を始めるに当たり運輸局への許可申請の前段として地域公共交通会議で協議を行う必要がある。空白地域の利用者代表の方々や運輸事業関係者、警察署、道路管理者に参

加いただき、それぞれの立場から広くご意見を頂戴したい。

**幼少年の遊び場づくり**

**議員** 教育の基本は、子供が思いきり遊べる場をつくることである。勉強する環境づくりも大事だが、外で思い切り遊ぶことは、友達との会話や思いやり、地球とのふれあい、生きる力や創造力、体力、健康などを包含しており、それらを経験し、あるいは向上させることができる。少子化問題や教育再生のスタートとして、PTA、地域、行政が一体となって遊び場環境を提

供すべきものと考えているかどうか。



ツリーハウス  
(ふれあいエスブ塩竈)

**市長** 本市の教育基本方針として「思いやりの心、健康な体、豊かな創造力を培う学校づくり」を一つの柱としており、子供たちが自分たちの工夫、知恵で自



ニュー市民クラブ  
佐藤 英治

**市政に対する一般質問**

# 市政に対する一般質問

分たちの遊びを展開できることが重要。今後、さまざまな角度から教育的な見地での遊び場が、どうあるべきかということについて検証していきたい。

**教育長** 私も遊びは大変大切なものと思っている。各学校とも、子供たちに遊びの楽しさを教えるために先生方が工夫している。

## EM(有用微生物)による生ごみリサイクルは

**議員** 不燃物は減量化が進んでいるが、可燃物はほとんど減量が見られない。可燃物に占める生ごみの割合は二十数%といわれるが、この生ごみ対策としてEM、いわゆる有用微生物群を活用すれば、臭いもなく自宅の庭や畑で有機栽培が可能となる。学校のプール掃除にも活用されており、海を汚さない。生ごみ減量化だけでなく、海の浄化や土壌活性化にも有用なるEMの活用を、本市としてどう考えているのか。

**市長** 本市では、エコオフィスプランを策定して年度ごとの目標を設定し、資源物のリサイクル等に取り組んできた。生ごみの減量化についても、平成三年度からコンポスト式の生ごみ処理器普及に努めている。今後は、生ごみに対するEM菌の普及を

図るため、出前講座など、市民や町内会の方々に、その効果を目で確かめていただくというような事も必要と考える。効果的な利用と普及を検討したい。



ニユー市民クラブ  
伊藤栄一

## 学校教育は

**議員** 体験教育は道徳を学ぶ基本と考えるが塩竈市からの発信が聞こえてこない。田舎体験として浦戸の休耕田や畑を利用し、学校ごとに田植えや種まき、草取り、収穫等をカリキュラムに組み込み、体験教育に力を入れるべきと考えるが市長の見解は。

**市長** 浦戸地区では、これまで遠足や総合的学習の時間などで、自然と直接触れ合うことができるさまざまな体験活動を行っている。今年七月には、月見ヶ丘小三年生が親子で自由散策を行う予定である。また、市内小学校五・六年生が浦戸でいかだづくりやウォーキングを行う「しおがま何でも体感団」を今年も実施する予定である。さらに、市営汽船の子供運賃が無料となるうらと子どもパスポートを利用して、家族連れで浦戸諸島を訪れる方々が年々増加している。

今後人も人として成長していく上で必要な徳を学習していただく機会を、浦戸や市内のさまざまな場所で体感していただくよう、なお一層努力したい。



浦戸地区  
(浦戸諸島開発総合センター)

## 道路特定財源は

**議員** 道路特定財源から本市の関連事業に対しどの程度の予算が充当されているか。また、道路特定財源が一般財源化された場合、本市事業への影響は。

**市長** 道路特定財源による本市への歳入としては、まちづくり交付金事業や地方道路整備臨時交付金事業に一億四千万円の国庫支出金が充てられている。また、地方税収分として二億三千万円が、過去の道路整備等に充てられた市債の償還や維持管理費に充当されている。一般財源化については、国の補助金や交付金が他に充当された場合、本市に必要な道路整備に支障をきたすケースも想定される。また、地方税収分が一般財源化された場合、起債償還費や維持管理費に多額の市費を持ち出すことになるものと危惧している。地域の産業振興は道路整備と一体不離であり、また、社会福祉の一翼を担っていることから、たとえ一般財源化されても、これら総合的施策を遅滞なく進めるよう国に強く要望したい。

**議員** 岩手・宮城内陸地震は各方面に甚大な被害をもたらした。そこで本市の地震対策について、特に市民が大勢で利用する公民館・生涯学習センター・老番館・市役所庁舎などの公共施設の現在の耐震強度と強い地震が起きた時の避難方法はどのようになっているのか。また、利用者を安全な場所へ誘導しなければならぬ職員の防災教育は徹底されているのか伺いたい。

**市長** 老番館・体育館及び市立病院の外來病棟等は、昭和五十六年に耐震基準が施行された後の建物なので、震度六強にも十

分耐え得るものである。しかし市立病院の東病棟、市役所本庁舎は、現在の耐震基準以前に建てられた建物なので、所要の耐震性が確保されていない。

また、職員に対する防災教育、地震などの災害が発生した場合の避難誘導の手順については、防火管理者が作成する計画の中で位置づけ、この計画に基づき定期的に避難誘導訓練等を実施している。



ニユー市民クラブ  
阿部かほる

## 公共施設の耐震強度と避難方法は

**議員** しおナビ百円バスは導入以来、市民生活の利便性向上に大いに役立っているが、子供達の健全育成、教育的観点からも有効利用を考慮してみる必要があるのではないか。学校の休校期間中、図書館、公民館、生涯学習センター等の学習施設に直接アクセスできる交通システムを

考えて頂きたい。これは児童等



ふれあいエスプラ塩竈

## 子供たちのための学習施設へのアクセスは

**議員** しおナビ百円バスは導入以来、市民生活の利便性向上に大いに役立っているが、子供達の健全育成、教育的観点からも有効利用を考慮してみる必要があるのではないか。学校の休校期間中、図書館、公民館、生涯学習センター等の学習施設に直接アクセスできる交通システムを

の事故や犯罪被害予防と休校中の過ごさせ方を心配する家庭の子育て支援でもある。市長の見解を伺いたい。

**市長** 手軽な足として多くの市民の方々にご利用いただいている百円バスは、この二月に利用者が百万人を突破した。

高齢者の健康づくりや公共施設へのアクセス性の確保など幾つかの役割を持った百円バスだが、ご提言はこれまでにない視点であった。児童生徒の健全育成、教育の面での有効活用ということも視野に入れながら、今後そのような方々に対する活用の方策を検討させていただきたい。

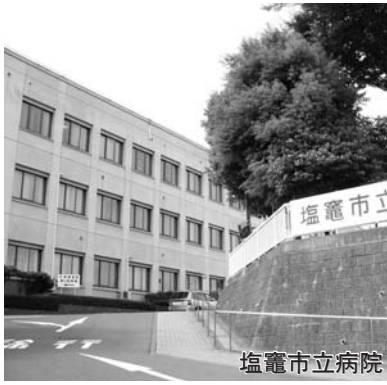


ニユー市民クラブ  
鎌田 礼二

### 高齢化に向かって

**議員** 本市の高齢化の現状と、今後のビジョンは。独居老人が年々増えているが、その対応は。例えば日帰り温泉のようなお年寄りの集まれる場所があるといいのではないか。身寄りのない高齢者が亡くなったときの基準はあるのか。また地震など災害発生時の対応について伺いたい。  
**市長** 高齢化社会への対応とし

て、高齢者保健福祉計画等に基づき、ダンベル体操等の介護予防事業や、健康生きがいづくり、安心して生活できる地域社会づくりにとりこんでいる。独居高齢者への配慮としては、いきいきデイサービス事業や閉じこもり予防・外出支援事業等がある。災害発生時には民生児童委員、自主防災組織等と連携しながら安否確認、避難誘導等を行う。  
**健康福祉部長** 温泉のような娯楽施設はないが、地域包括支援センター三カ所を柱としてトータルに高齢者対策を実施している。身寄りのない方の葬儀については知人等を探すが基本だが、できるだけ配慮したい。



塩竈市立病院

### 市立病院の審議公開を

**議員** 市立病院の今後のあり方審議会がスタートしたが、経営形態等についてある程度の道筋が必要ではないか。またこの審

議会は公開制ではあるが、市民の理解を得るため審議内容について市民に逐次報告が必要ではないか。ケーブルTVやラジオも使っているのか。

**市長** 行政として方向性を明確にすべきではないかということだが、市立病院は市民の健康を守り、安全と安心な暮らしに欠かせない役割を担っており、今後とも継続したい。しかし病院経営を取り巻く環境が変化しており、病院の存在意義を改めて検討すべき時期であることから、多方面の専門家に議論をいただき、その役割を明確にするために審議会を設置したところであり、その議論の経過を見守りたい。情報は広報紙やホームページで公開する。

**市立病院事務部長** ケーブルTV等での放送については、個人情報にかかわる議論も想定されるので、慎重に検討したい。



社会民主党  
東海林 京子

### 百円バスは

**議員** ①空白地域の開通時期は。②地域公共交通会議に利用者代表もメンバーに加えるべきでは。③カード利用による割引増大は

事業者の赤字拡大の要因でもあり、路線縮小につながるかねないのでは。④バス停内への不法駐車は、乗降者の迷惑や交通安全の妨げにもなる。厳重な取締りを願いたい。



しおナビ百円バス

**市長** ①地域公共交通会議で合意を得て、運輸局への申請、許可という手続を踏み運行開始となる。利便性向上のため、仙台・宮城デスティネーションキャンペーンも視野に入れながら努力する。②同機関は住民代表、自動車運送事業者、運輸局や警察署、並びに道路管理者等で構成される。③利用者が増加してきた一因は、カード利用により割安感が増したこと、百円玉を用意しなくても済むこと等も考えられるので、今後の利用状況の推移を見守りたい。④市としては今後とも啓蒙活動を充実するとともに塩釜警察署に取組みを強化するよう働きかけたい。

### 妊婦健診は

**議員** 今年度の妊婦健診は、助成回数をこれまでの二回から三回に拡大し、費用についても三分三万五千七百円を公費で負担している。国は少子化対策の一環として、妊娠中の健康診査の公費負担のあり方について少なくとも五回程度の公費負担が原則とされている。このことから当面は国の方針の五回を守り十四回に近づこう努力し「日本一住みやすい塩竈」づくりを進めて欲しい。またお産は親元でという妊婦もいるがその際の公費負担について伺いたい。  
**市長** 厳しい財政事情から妊婦健診の助成回数は二回から三回までの引き上げにとどまったが、引き続き段階的に拡大に向けた検討を行っていききたい。

里帰り出産時の妊婦健診助成については、これまで県内の医療機関受診に限られていた。県外医療機関で受診した妊婦健診費用については、無料受診券相当分の費用を限度に後日払い戻しができるよう制度の改善を図っている。

## 市政に対する一般質問



### 6月定例会審議結果

議案番号	件名	結果
議案第48号	塩竈市障害児通園事業施設条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第49号	塩竈市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第50号	塩竈市自転車等駐車場条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第51号	塩釜港旅客ターミナル条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第52号	塩竈市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第53号	塩竈市中小企業制度融資損失補償条例	原案可決
議案第54号	塩竈市農業委員会の選挙による委員の定数条例及び特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第55号	健康保険法等の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	原案可決
議案第56号	平成20年度塩竈市一般会計補正予算	原案可決
議案第57号	平成20年度塩竈市国民健康保険事業特別会計補正予算	原案可決
議案第58号	市道路線の認定及び廃止について	原案可決

### 5月臨時会審議結果

議案番号	件名	結果
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて(塩竈市立病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例)	承認
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて(塩竈市手数料条例の一部を改正する条例)	承認
議案第46号	平成20年度塩竈市一般会計補正予算	原案可決
議案第47号	平成20年度塩竈市魚市場事業特別会計補正予算	原案可決

### 編集後記

六月十四日(土)午前八時四十三分ごろに発生した岩手・宮城内陸地震は、未曾有の大災害をもたらしました。被災された方々に心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

六月定例会も無事終了し、ここに市議会だより第百七十二号を市民の皆様にお届けいたします。ぜひ議会活動をご覧下さい。今後も皆様に親しまれる「議会だより」づくりに努力してまいりますので、よろしくお願いたします。

議会報編集委員会  
委員長 菊地 進

### 請願

今定例会で審議された請願は一件で、結果は次のとおりです。  
○閉会中の継続審査としたもの  
▽後期高齢者が安心できる医療保険制度にするための請願

### 人事

今定例会において、次のとおり推薦されました。  
○塩竈市農業委員会の委員  
鈴木昭一

### 暑中お見舞い申し上げます

平成二十年盛夏

塩竈市議会議員一同

※公職選挙法の規定により、議員は選挙区内で、答礼のための自筆によるものを除き、暑中見舞いなどをだすことは禁止されております。市民の皆様のご理解をお願いいたします。



### 定例会傍聴のお知らせ

本市議会では、定例会が年4回(2月・6月・9月・12月)開催されています。本会議は一般に公開され、どなたでも傍聴できます。傍聴を希望される方は、本庁舎4階の傍聴席へおいでください。

●次回の定例会(9月定例会)  
9月9日(火)  
午後1時 開会予定